HONDA
The Power of Dreams

取扱説明書

Gathers

Honda Multi Car-AV System

CD チューナー

CX-154C

MP3 WMA AAC

Honda Access

Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
お買い上げいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書は、
ご使用のまえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- 当商品はHonda車専用です。商品の適用車種は販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合は一切の責任を負えませんのでご承知おきください。
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い求めの販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めの販売店へご相談ください。

もくじ

はじめに

4 ● 安全上のご注意
6 ● 使用上のご注意
8 ● 各部の名前とはたらき

基本操作

10 ● 電源をオン/オフする
10 ● 音量を調整する
10 ● ラジオを受信する
10 ● CDを再生する
11 ● 交通情報を聞く
11 ● 外部機器を聞く
11 ● 時計調整をする

CDを聞く

12 ● 本機で使えるメディアとオーディオファイル
12 ● オーディオファイルの再生順序
13 ● 再生中の表示
13 ● いつもと違う曲順で聞く（ランダム再生）
13 ● フォルダ内の曲をいつもと違う順番で聞く（フォルダランダム再生）
14 ● 同じ曲を繰り返し聞く（リピート再生）
14 ● 同じフォルダを繰り返し聞く（フォルダリピート再生）
15 ● 各曲の最初の部分を次々に再生させる（スキャン再生）
15 ● 各フォルダの最初の曲を次々に再生させる（フォルダスキャン再生）

ラジオを聞く

16 ● ラジオ受信中の表示
16 ● 放送局を自動で探す
16 ● 聞きたい放送局の周波数に手動で合わせる
17 ● 放送局を登録する（手動放送局プリセット）
17 ● 登録した放送局を呼び出す
17 ● 放送局を自動登録する（オートセレクトモード）

環境設定をする（コンフィグモード）

18 ● 音質の調整をする
19 ● 機能の設定をする

オーディオリモコンスイッチ

20 ● オーディオリモコンスイッチのはたらき

困ったときは

21 ● 故障かな?と思ったら
22 ● メッセージが表示されたら...

付録

23 ● 用語集
23 ● 商標
24 ● 保証とアフターサービス
25 ● 付属品一覧
26 ● 外形寸法図
27 ● 仕様一覧

安全上のご注意

本書では、運転者や他の人が傷害を負ったりする可能性のあることを下記の表示を使って記載し、その危険性や回避方法などを説明しています。
これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠ 危険	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの
⚠ 警告	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
⚠ 注意	指示に従わないと、軽傷をうける可能性があるもの

当商品に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。
しっかりお読みください。

アドバイス	●当商品が故障、破損するのを防ぐためアドバイスを記載しています。 ●異常事態の処置方法を記載しています。
知　識	●知っておいていただきたいこと、知っておくと便利なことを記載しています。

⚠ 危険

該当なし

⚠ 警告

該当なし

⚠ 注意

交通事故防止のため、運転者が以下のような行為をするときは、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入や取り出しなど）

ディスク挿入口などに手や指を挟まれないよう注意してください。
ディスク挿入口に、手や指を入れるとけがの原因になることがありますので差し込まないでください。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

AUX外部機器は運転に支障をきたさないような場所に固定してください。

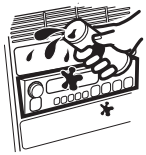
アドバイス

エンジン停止中やアイドリング中に大きな音量で長時間ご使用になりますと、バッテリーが過放電となり、エンジンの起動ができなくなる恐れがあります。

ディスク挿入口またはAUX端子に、コインなど異物を差し込まないでください。故障の原因になることがあります。

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



本製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

知 識

ラジオの受信については、アンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

バッテリー交換などで本機への電源供給が止まると、設定したすべての内容が消えてしまいます。

本機が動作中に、振動の激しい悪路や道路のつなぎ目などを走行すると、音飛びを起こすことがあります。

長時間車を屋外に駐車する場合
真夏や真冬は、車内の温度が極度に変化していますので換気したり、暖房したりして、車内を適温にしてご使用ください。

表示部に衝撃を加えたりすると、破損や変形など、故障の原因となります。

表示部は、日差しの角度によっては反射光で見えにくくなることがあります。また、見る角度によって、液晶の特性上見えにくくなる場合があります。

結露について
寒い車内を急に暖房したときなど、ユニット内部に結露が起こることがあります。結露がユニット内部で発生すると、ピックアップに水滴が付着し、レーザー光線が乱反射され正常に動作できなくなることがあります。このような場合は、CDを取り出して乾燥させてください。1時間程度で結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。

温度について
直射日光下で窓を閉めきっていると、車内は非常に高温になります。
本機内部が70℃を超える高温になると、保護回路が働いてCDの再生ができなくなります。このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、再生ができる状態になります。

万一異常が発生したときは、「保証とアフターサービス」(P.24)の項をお読みになり修理を依頼してください。

使用上のご注意

本機を使用していただくうえで、知っておいていただきたいことです。

表示できる文字について
本機で表示できる文字は、英大文字と数字のみです。

お手入れについて
本機の操作パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。
スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。
また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

レンズクリーナーについて
レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

Honda スマートキーについて
Honda スマートキーが装着されている車両では、Honda スマートキーを本機に近づけると動作しなくなる場合がありますので、十分にご注意ください。

使用できないディスク
以下のディスクは使用しないでください。

- 特殊な形状のディスク。
  円形以外のディスクは、故障の原因になります。

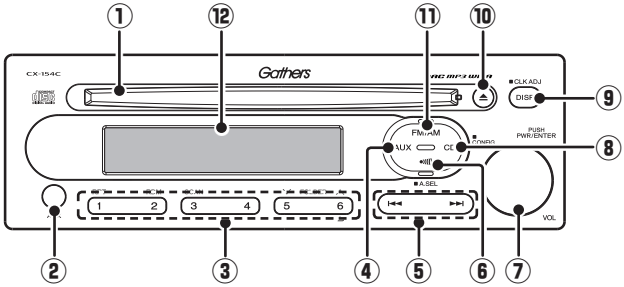
- 記録面(レーベル面の裏)に着色や汚れがあるディスク。
  引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因になります。記録面には触れないようにお取り扱いください。
- 以下のマークのないディスクは、正しく再生されない可能性があります。

- ファイナライズ処理していないCD-R、CD-RW。
  お使いのCD-R/CD-RWライティングソフト、CD-R/CD-RWレコーダーの取扱説明書を参照して、記録を行った機器以外のプレーヤーでも再生できるようにするための処理(ファイナライズ処理)を行ってください。
  ただし、CD-R/CD-RWはファイナライズ処理をしていても、記録状態によって再生できない場合があります。
- 汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク。
  音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因になることがあります。
- 表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスク。
  ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

ディスクの使用上のご注意

- ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。レコード用クリーナー、静電防止剤やシンナー、ベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。
- 本機からディスクを取り出すときは、ディスクを下側に強く押さず、水平方向に引き出してください。ディスクを下側に押すと、記録面に傷を付ける原因となります。
- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。
- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー(スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど)は使用しないでください。故障の原因となります。
- 8cmCD、アダプターは使用できません。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

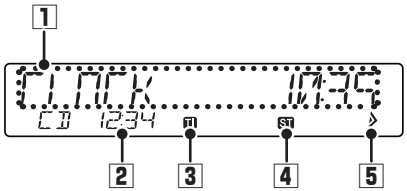
各部の名前とはたらき



番号	ボタン名/機能
①	**ディスク挿入口** CDのレーベル面を上にして差し込みます。(P.10)
②	**AUX端子** ポータブルオーディオ機器などの外部機器を接続します。(P.11)
③	**1**～**6**ボタン ● AM/FM音源中 放送局の登録、呼び出しをします。(P.17) ● CD音源中 **1**：リピート再生をします。(P.14) **2**：ランダム再生をします。(P.13) **3**：スキャン再生をします。(P.15) **5**：前のフォルダを再生します。 **6**：次のフォルダを再生します。 ● コンフィグモード中 **6**：一つ前の項目に戻ります。(P.18)
④	**AUX**ボタン 音源をAUXに切り替えます。(P.11)
⑤	**⏮** **⏭**ボタン ● AM/FM音源中 放送局(周波数)を切り替えます。(P.16) ● CD音源中 再生する曲を切り替えます。 また、押し続けると曲の早送り、早戻しをします。

番号	ボタン名/機能
⑥	**((•))**ボタン ● 交通情報局を受信します。(P.11) ● AM/FM音源中 押し続けると、オートセレクトモードになります。(P.17)
⑦	**VOL**ノブ ● 押すたびに電源がオン・オフします。(P.10) ● 回すと音量を調整します。(P.10) ● コンフィグモード中 項目を選択します。 目的の項目まで回して、押して項目を選択します。(P.18)
⑧	**CD**ボタン ● 本機にCDが挿入されているときに、音源をCDに切り替えます。(P.10) ● 押し続けると、コンフィグモードになります。(P.18)
⑨	**DISP**ボタン ● 時計表示を上段と下段とに切り替えます。(P.13) ● 押し続けると、時計調整モードに切り替わります。(P.11)
⑩	**⏏**ボタン ● CDを取り出します。 ● CDを排出したままにすると、約10秒で自動的に引き込まれます。(P.10)
⑪	**FM/AM**ボタン 音源をAMまたはFM放送に切り替えます。(P.16)

ディスプレイ



番号	ボタン名/機能
⑫	**ディスプレイ** 時計や音源の情報など、本機の動作状況を表示します。(右記)

番号	機能
1	時計表示
2	音源の情報(再生時間、周波数など)を表示
3	交通情報受信中に点灯
4	FMステレオ放送を受信中に点灯
5	ディスク挿入状態で点灯

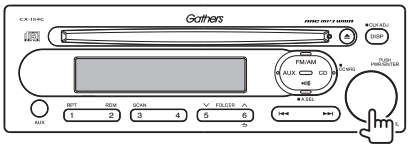
知識

● DISPを押すたびに、1と2の時計表示と音源情報表示が入れ替わります。
(P.13、P.16)

基本操作

■電源をオン/オフする

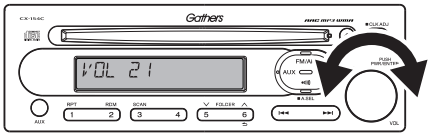
1 VOLを押す



本機の電源がオン・オフします。

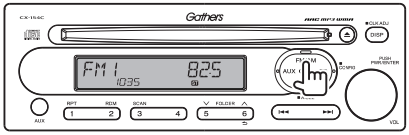
■音量を調整する

1 VOLを回す



■ラジオを受信する

1 FM/AMを押す



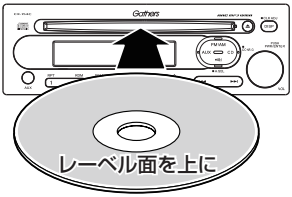
ラジオの受信が始まります。
FM/AMを押すたびに受信バンドがFM1、FM2、AMに切り替わります。

知識

- ステレオ放送を受信中は"ST"表示が点灯します。
- バンドや放送局の選び方などは「ラジオを聞く」(P.16)をご覧ください。

■CDを再生する

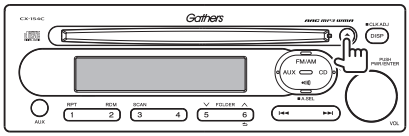
1 CDをディスク挿入口に差し込む



CDが吸い込まれ、再生が始まります。
本機にCDが入っているときは、"⏵"表示が点灯します。
CDが本機に入っているときは、CDを押すと再生が始まります。

CDを取り出す

1 ⏏を押す



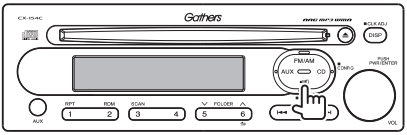
CDが出てきます。

知識

- ⏏を押して排出されたCDを10秒そのままにしておくと、自動的にCDが引き込まれます。
- オーディオファイルが記録されたCDも再生できます。「本機で使えるメディアとオーディオファイル」(P.12)をご覧ください。
- CDの詳しい再生操作は「CDを聞く」(P.12)をご覧ください。

■交通情報を聞く

1 (•))))を押す



"TRAFFIC INFO"と表示され、交通情報を受信します。
交通情報受信中は"TI"表示が点灯します。
もう一度(•))))を押すと、交通情報受信前の状態に戻ります。

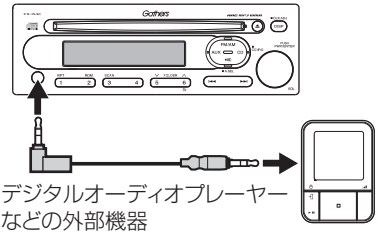
知識

- 交通情報を受信中に|◀◀ ▶▶|を押すと、受信周波数が1620kHzと1629kHzに切り替わります。

■外部機器を聞く

1 接続する前に以下の準備をする
  - 接続する外部機器の電源をオフする
  - 車のエンジンスイッチを0（ロック）にする

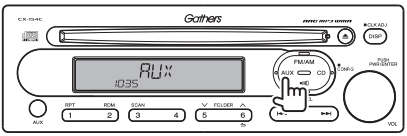
2 AUX端子に市販のステレオミニプラグケーブル(3.5φ、3極)を差し込む



デジタルオーディオプレーヤーなどの外部機器

3 ステレオミニプラグケーブルを外部機器のヘッドホン端子に接続する

4 AUXを押す



"AUX"と表示され、AUX音源となります。
外部機器の音声が本機から出力されます。

⚠注意

- 車のエンジンスイッチを0（ロック）にするときや本機の電源をオフにするときは、最初に外部機器の電源をオフにしてから行ってください。
- ステレオミニプラグケーブルを抜くときは、外部機器と本機の電源をオフにしてください。

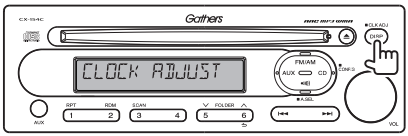
知識

- AUX音源の音量は、他の音源とは独立して調整ができます。

■時計調整をする

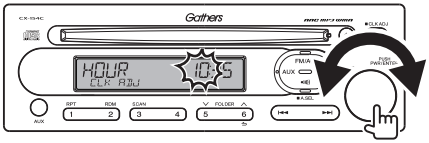
本機をご使用になる前に、時計を調整します。

1 DISPを押し続ける

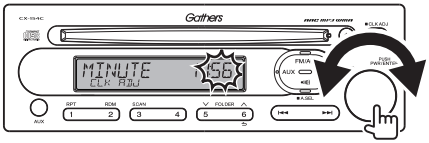


"CLOCK ADJUST"と表示され、時計調整モードになります。

2 VOLを回して「時」を調整し、VOLを押す



3 VOLを回して「分」を調整し、VOLを押す



時計調整が終了します。

CDを聞く

本機で使えるメディアとオーディオファイル

本機で使用できるメディアやオーディオファイルの種類は下記の通りです。

対応ディスク	CD-R、CD-RW、CD-ROM
ディスクファイルシステム	ISO 9660 Level 1/2, Joliet
オーディオファイル	MP3 (.mp3)、WMA (.wma)、AAC (.m4a)

ディスクのファイルおよびフォルダの階層構造

最大ディレクトリ階層	8 階層
最大ファイル数	500
フォルダ中の最大ファイル数	500
最大フォルダ数	500
最大フォルダ名、ファイル名	32 byte

再生可能なMP3フォーマット

ID3 Tag	v1.0 / 1.1/ 2.3 / 2.4 規格
MPEG1 Audio Layer 3 規格	サンプリング周波数 : 32/ 44.1/ 48 kHz ビットレート : 32 ～ 320 kbps、VBR
MPEG2 Audio LSF Layer 3	サンプリング周波数 : 8/ 11.025/ 12/ 16/ 22.05/ 24 kHz ビットレート : 8 ～ 160 kbps、VBR

再生可能なWMAフォーマット

フォーマット	Windows Media Audio に準拠したファイル (新しい機能が使われている Windows Media Audio 9 以降のバージョンは除く)
サンプリング周波数	32/ 44.1/ 48 kHz
ビットレート	32 ～ 192 kbps、VBR

再生可能なAACフォーマット

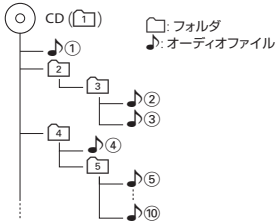
フォーマット	AAC-LC (iTunes® にてエンコードされたMPEG4 AACファイル)
サンプリング周波数	16/ 22.05/ 24/ 32/ 44.1/ 48 kHz
ビットレート	32 ～ 320 kbps

知識

- 上記の規格に準拠したオーディオファイルであっても、メディアのコンディションによっては、正常に再生されない場合があります。
- 著作権保護されたファイルについて
  本機では、コピープロテクトや著作権管理が設定されているオーディオファイルは、再生できません。個人的に楽しむなどの場合を除き、音楽や映像などの著作物を著作権利者の許諾を得ずに複製(録音)、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

オーディオファイルの再生順序

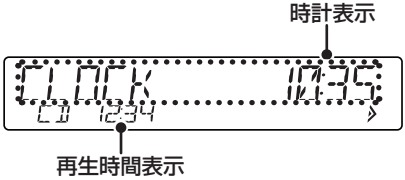
下図の例では、①から⑩の順で再生されます。



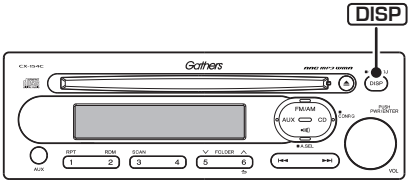
ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。

■再生中の表示

CDまたはオーディオファイルを再生中は、下記の情報が表示されます。

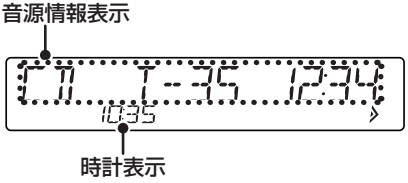


表示の切り替えかた



1 DISPを押す

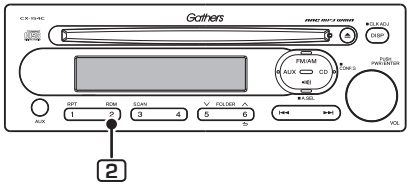
時計表示と再生時間表示が入れ替わります。上段に再生時間が表示されている場合は、ほかの音源情報も表示されます。



音源	音源情報表示
音楽CD	“CD”/トラック番号/再生時間
オーディオファイル	フォルダ番号/ファイル番号/再生時間

■いつもと違う曲順で聞く（ランダム再生）

再生する曲を順不同で選び再生します。



1 2を押す

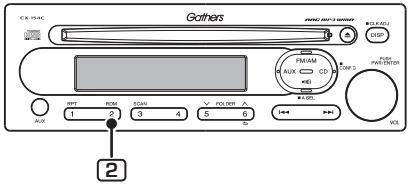
“RANDOM”と表示され、ランダム再生が始まります。ディスク内の曲を順不同に再生します。

知識

● ランダム再生を終了するときは、2を押します。

■フォルダ内の曲をいつもと違う順番で聞く（フォルダランダム再生）

再生しているフォルダ内の曲を順不同で選び再生します。（オーディオファイル再生中のみ）



1 2を押し続ける

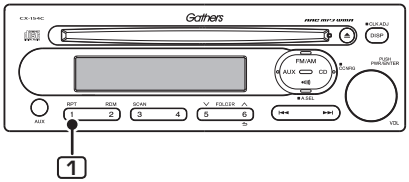
“FOLDER RANDOM”と表示され、フォルダランダム再生が始まります。フォルダ内の曲を順不同に再生します。

知識

● フォルダランダム再生を終了するときは、2を押し続けます。

同じ曲を繰り返し聞く（リピート再生）

再生中の曲を繰り返し再生します。



1 1を押す

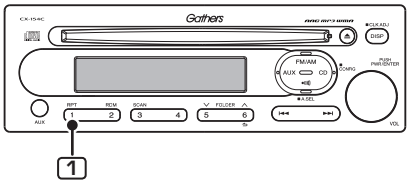
“REPEAT”と表示され、現在再生中の曲のリピート再生が始まります。

知識

● リピート再生を終了するときは、1を押します。

同じフォルダを繰り返し聞く（フォルダリピート再生）

再生中のフォルダを繰り返し再生します。（オーディオファイル再生中のみ）



1 1を押し続ける

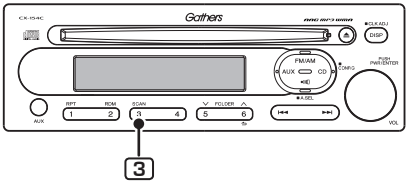
“FOLDER REPEAT”と表示され、現在再生中のフォルダのリピート再生が始まります。

知識

● フォルダリピート再生を終了するときは、1を押し続けます。

■各曲の最初の部分を次々に再生させる（スキャン再生）

ディスク内の曲の最初の部分を次々に再生し、聞きたい曲を探します。



1 3を押す

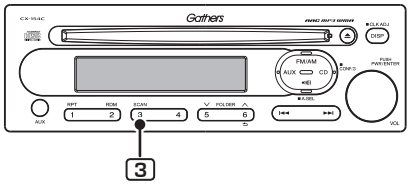
"SCAN"と表示され、スキャン再生が始まります。

知識

● スキャン再生を終了するときは、3を押します。

■各フォルダの最初の曲を次々に再生させる（フォルダスキャン再生）

各フォルダの１曲目の最初の部分を次々に再生し、聞きたいフォルダを探します。（オーディオファイル再生中のみ）



1 3を押し続ける

"FOLDER SCAN"と表示され、フォルダスキャン再生が始まります。

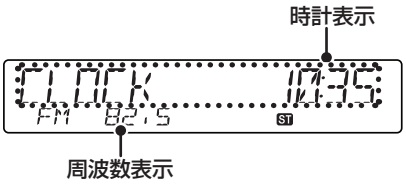
知識

● フォルダスキャン再生を終了するときは、3を押し続けます。

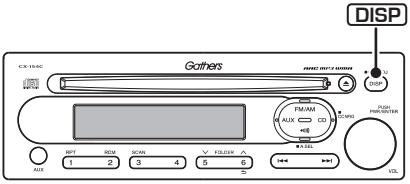
ラジオを聞く

ラジオ受信中の表示

ラジオを受信中は、下記の情報が表示されます。

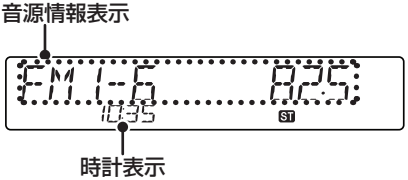


表示の切り替えかた



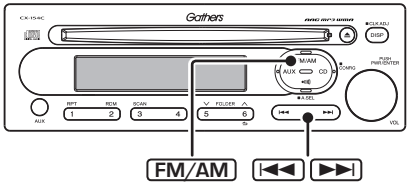
1 DISPを押す

時計表示と周波数表示が入れ替わります。
上段に周波数表示が表示されている場合は、ほかの音源情報も表示されます。



音源	音源情報表示
FM	"FM"/バンド数/プリセット番号/周波数
AM	"AM"/プリセット番号/周波数

放送局を自動で探す



1 FM/AMを押して、聞きたいバンドを受信する

押すたびに、FM1 ➡ FM2 ➡ AM ➡ FM1…の順に切り替わります。

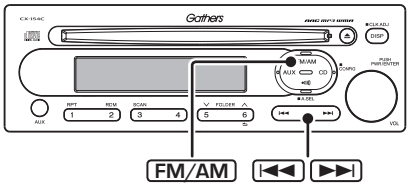
2 |◄◄または►►|を0.5秒以上押し続ける

0.5秒押すと操作音(ピッ音)が鳴り、指を離すと受信可能な放送局を探し始めます。
受信状態が良い放送局が見つかると停止し、受信を開始します。

知識

- 自動選局を中止するときは、|◄◄または►►|を押します。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局できない場合があります。

聞きたい放送局の周波数に手動で合わせる



1 FM/AMを押して、聞きたいバンドを受信する

押すたびに、FM1 ➡ FM2 ➡ AM ➡ FM1…の順に切り替わります。

2 |◄◄または►►|を押す

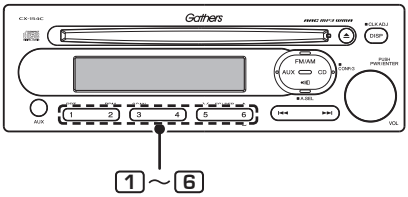
押すたびに、FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ受信周波数が変わります。

周波数を連続して変えたい場合

⏮または⏭を1.5秒以上押し続ける

押し続けている間、受信周波数が連続で変わります。

■放送局を登録する（手動放送局プリセット）



1 登録したい放送局を受信する

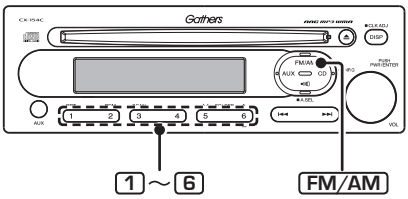
2 1～6をプリセット番号が表示されるまで押し続ける

受信している放送局が押した1～6に登録されます。

知識

- 各バンド(FM1、FM2、AM)で、1～6に1局ずつ登録ができます。

■登録した放送局を呼び出す



1 FM/AMを押して、呼び出したいバンドを受信する

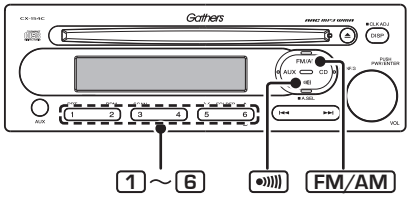
押すたびに、FM1 ➡ FM2 ➡ AM ➡ FM1…の順に切り替わります。

2 聞きたい放送局が登録されている1～6を押す

登録している放送局を受信します。

■放送局を自動登録する（オートセレクトモード）

現在受信可能な放送局を、受信状態が良い順に1～6に登録します。



1 FM/AMを押して、自動登録したいバンドを受信する

押すたびに、FM1 ➡ FM2 ➡ AM ➡ FM1…の順に切り替わります。

2 📻を押し続ける

"AUTO SELECT"と表示され、現在のバンドで受信状態の良い放送局が自動的に登録されます。FM受信中は最大12局登録され（受信状態のより良い6局がFM1に登録されます）、AM受信中は最大6局登録されます。

登録が完了すると、最も受信状態の良い放送局を受信します。

3 1～6を押して放送局を呼び出す

FMを聞いている場合は、FM/AMを押してFM1とFM2を切り替えます。

知識

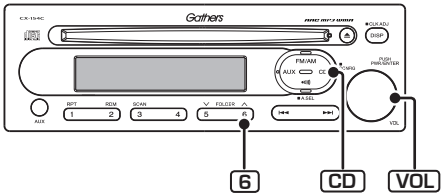
- オートセレクトモードを終了するときは、📻を押し続けます。

  登録された放送局は消えて、手動放送局プリセットで登録した放送局が呼び出せるようになります。
- オートセレクトモード中のバンドは、「バンド名"ASEL"」と表示されます。
- 放送局が登録がされていない場合は、無音となり"----"と表示されます。

環境設定をする(コンフィグモード)

音質の調整をする

音響効果などを設定します。



1 CDを押し続ける
"CONFIG"と表示され、コンフィグモードになります。

2 VOLを回して"SOUND"を選び、VOLを押す

3 VOLを回して設定項目を選び、VOLを押す
各項目の詳細な設定内容については、後記の設定項目をご覧ください。
太字は設定値です。

4 VOLを回して設定値を選び、VOLを押す

前の項目に戻る場合
6を押す

コンフィグモードを終了する場合
CDを押し続ける

設定項目

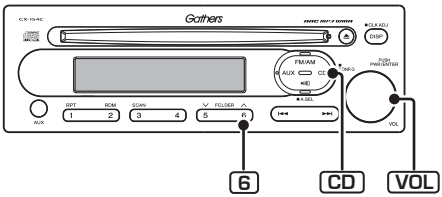
PRESET EQ
音楽に合わせてあらかじめ設定された音質を選択します。 **OFF**(初期設定)/ **ROCK**/ **POPS**/ **CLASSIC**/ **DANCE**/ **JAZZ**/ **FLAT**
BASS
低音域の音量を調整します。 **LEVEL –6 ～ LEVEL 0**(初期設定)～ **LEVEL +6**
MIDDLE
中音域の音量を調整します。 **LEVEL –6 ～ LEVEL 0**(初期設定)～ **LEVEL +6**
TREBLE
高音域の音量を調整します。 **LEVEL –6 ～ LEVEL 0**(初期設定)～ **LEVEL +6**
BALANCE
左右の音量バランスを調整します。 **LEFT 9 ～ CENTER 0**(初期設定)～ **RIGHT 9**
FADER
前後の音量バランスを調整します。 **REAR 9 ～ CENTER 0**(初期設定)～ **FRONT 9**
SVC
車速に連動して音量を自動的にコントロールします。速度が上がると音量が大きくなり、走行ノイズの影響を緩和します。 **OFF**:車速による音量コントロールはされません。 **LOW**:音量コントロールされます。(最小補正) **MID**:音量コントロールされます。(初期設定) **HIGH**:音量コントロールされます。(最大補正)

知識

- "BASS"、"MIDDLE"、および"TREBLE"は、"PRESET EQ"が"OFF"に設定されてるときに設定可能となります。
- 6を押し続けても、コンフィグモードを終了できます。

■ 機能の設定をする

基本機能や表示についての設定を変更します。



1 CDを押し続ける
"CONFIG"と表示され、コンフィグモードになります。

2 VOLを回して"SETTINGS"を選び、VOLを押す

3 VOLを回して設定項目を選び、VOLを押す
各項目の詳細な設定内容については、後記の設定項目をご覧ください。
太字は設定値です。

4 VOLを回して設定値を選び、VOLを押す

前の項目に戻る場合
6を押す

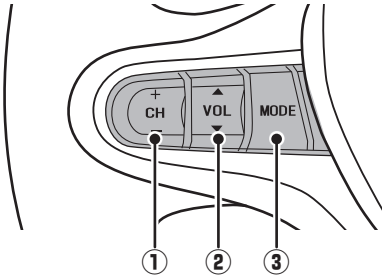
コンフィグモードを終了する場合
CDを押し続ける

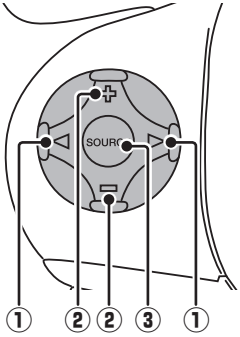
設定項目

KEY BEEP
操作時のビープ音を設定します。 **OFF/ ON**（初期設定）
CLOCK
時計表示の有無を設定します。 **OFF/ ON**（初期設定）

知識
- 6を押し続けても、コンフィグモードを終了できます。

オーディオリモコンスイッチのはたらき





番号	ボタン名/機能
①	CHスイッチ、◁ ▷スイッチ ● AM/FM音源中 押すと、1～6に登録されている放送局(周波数)を順に切り替えます。(P.17) 押し続けると、受信状態の良い放送局を自動で探して受信します。 ● CD音源中 押すと、再生する曲を切り替えます。 オーディオファイルを再生中に押し続けると、再生するフォルダを切り替えます。
②	VOLスイッチ、+ −スイッチ 音量を調整します。
③	MODEスイッチ、SOURCEスイッチ 音源が以下の順に切り替わります。 FM1 ➡ FM2 ➡ AM ➡ CD ➡ AUX ➡ FM1…

知識

● CD音源へは、本機にCDが挿入されているときのみ切り替わります。

困ったときは

■故障かな?と思ったら

本機に異常を感じたときは、まず次の表を参照して解決方法をお調べください。

電源が入らない

ヒューズが切れている。
☞販売店にヒューズの交換を依頼してください。
エンジンスイッチをオンにしていない。
☞エンジンスイッチをオンにしてください。

音が出ない/音が小さい

電源がオフになっている。
☞ボリュームノブを押して、電源をオンにしてください。
音量が最小になっている。
☞音量を適度に大きくしてください。
"FADER"、"BALANCE"が片側に片寄った設定になっている。
☞"FADER"（フェダー）、"BALANCE"（バランス）を調整してください。(P.18)

音質が悪い(音が歪む)

音量が大きすぎる。
☞適正音量で使用してください。

勝手に音量が変わる

SVC（車速連動音量）機能がオン("LOW"、"MID"、"HIGH")に設定されているため。
☞不要な場合は「音質の調整をする」(P.18)を参照して、"SVC"を"OFF"に設定してください。

CDモードに切り替わらない

CDが挿入されていない。
☞CDを挿入してください。

ディスクが入らない

すでにディスクが入っている。
☞入っているディスクを取り出してから入れてください。
ディスクが反っている。
☞反ったディスクは使用しないでください。

ディスクが取り出せない

ディスクが排出の途中で止まっています。
☞ディスクが完全に排出されるまで⏏(イジェクトボタン)を押してください。

CDやオーディオファイルを再生できない

ディスクが異常に汚れてます。
☞「ディスクの使用上のご注意」(P.7)を参照して、ディスクをクリーニングしてください。

CDやオーディオファイル再生中に音飛びする

ディスクに傷や汚れがあります。
☞「ディスクの使用上のご注意」(P.7)を参照して、ディスクをクリーニングしてください。
ディスク作成時に問題が発生しました。
☞ディスクを作成し直すか、ほかのディスクを使用してください。

オーディオファイルを再生するまで時間がかかる

メディアに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。
☞最初にメディア内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、再生されるまで長時間かかる場合があります。

フォルダ検索をすると雑音が出る

オーディオファイルが入っていないフォルダが連続して存在すると雑音が出る場合があります。
☞オーディオファイルが入っていないフォルダは作成しないでください。

ラジオが受信できない

自動車のアンテナが伸びていない。
☞アンテナを十分伸ばしてください。
電波が弱い。
☞電波状態の良い周波数を受信してください。
受信周波数が合っていない。
☞放送局の周波数を確認して、周波数を合わせてください。

自動選局できない

電波が弱い。
☞手動で選局してください。

AUXの音量が小さい

抵抗入りのケーブルを使用して接続している。
☞抵抗が入っていないケーブルを使用してください。
AUX端子に接続した機器の音量が小さくなっている。
☞接続した機器の音量を適度に上げてください。

メッセージが表示されたら...

本機のシステムに不具合があるときや操作が受け付けられないときのメッセージです。
以下の処置にしたがって対応してください。処置を施してもエラーメッセージが表示される場合は、お買上げの販売店にご相談ください。

READING

挿入されたディスクのデータを確認中です。
☞確認が終了すると自動的に再生が始まります。

DISC ERROR

ディスクに傷や汚れがあります。
☞「ディスクの使用上のご注意」(P.7)を参照して、ディスクをクリーニングしてください。
ディスクが裏返しになっています。
☞ディスクのレーベル面を上にして挿入し直してください。

MECHA ERROR

本機が正常に動作していません。
☞⏏(イジェクトボタン)を押して、ディスクを取り出してください。

COPY PROTECT

再生しようとしたオーディオファイルは、コピープロテクトされています。
☞コピープロテクトされたオーディオファイルは再生できません。
3秒後に次のオーディオファイルが再生されます。

FILE ERROR

サポートされていないフォーマットのオーディオファイルを再生しようとしました。
☞「本機で使えるメディアとオーディオファイル」(P.12)を参照して、本機でサポートされているフォーマットのオーディオファイルをご使用ください。
3秒後に次のオーディオファイルを再生します。

PROTECT

スピーカーコードがショートまたは車両のシャーシーに接触したために、保護回路が働きました。
☞お買い上げの販売店にご相談ください。

用語集

MP3（エムピースリー）
正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称で、DVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法の、オーディオ部分のみの圧縮規格です。
本書では主に、この方式を使用したオーディオファイルを指します。
使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「本機で使えるメディアとオーディオファイル」（P.12）をご覧ください。

WMA（Windows Media™ Audio）
米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows MediaTM Audio」の略称です。
本書では主に、この方式を使用したオーディオファイルを指します。
使用できるWMA収録メディアの種類やフォーマットなどは「本機で使えるメディアとオーディオファイル」（P.12）をご覧ください。

AAC（エーエーシー）
正式名「Advanced Audio Coding」の略称で、デジタル放送などに使用されている画像圧縮方法の、オーディオ部分のみの圧縮規格です。
本書では主に、この方式を使用したオーディオファイルを指します。
使用できるAAC収録メディアの種類やフォーマットなどは「本機で使えるメディアとオーディオファイル」（P.12）をご覧ください。

SVC（Speed−Sensitive Volume Compensation）
車速連動音量機能。
車速に連動して音量を自動的にコントロールします。

商標

- Windows MediaTM は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。
- The “AAC” logo is a trademark of Dolby Laboratories.

保証とアフターサービス

保証について

保証書に記載された「販売会社印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

アフターサービスについて

調子が悪いとき
まず、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも調子が悪いとき
保証規定に従い修理させていただきますのでお買い上げの販売会社に修理を依頼してください。

保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

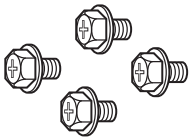
補修用性能部品
製造打切り後、最低6年間保有しています。

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めの販売店へご相談ください。

付属品一覧

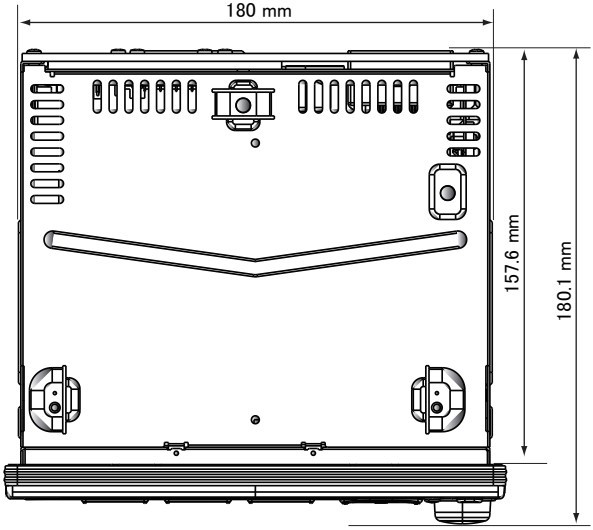
取扱説明書：1冊

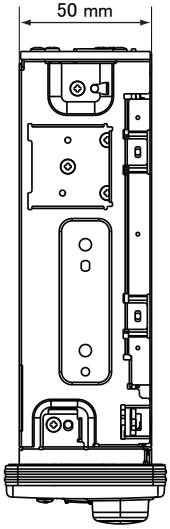
取付ネジ(M5×8mm)：4個

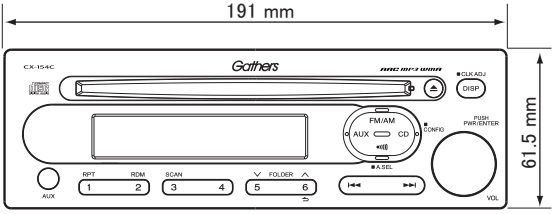


車両への取り付けに使用します。
（一部車両を除く）

外形寸法図


180 mm
157.6 mm
180.1 mm


50 mm


191 mm
61.5 mm
CX-154C
Gathers
CLK ADJ
DISP
FM/AM
AUX
CD
CONFIG
PUSH PWR/ENTER
A.SEL
RPT
RDM
SCAN
FOLDER
1
2
3
4
5
6
AUX
VOL

仕様一覧

FMチューナー部	
受信周波数範囲	76.0 MHz～90.0 MHz
周波数ステップ	100 kHz
実用感度 (S/N：26 dB)	9.9 dBf (0.86 μV/75 Ω)
DIN S/N 46 dB感度	19.2 dBf (2.0 μV/75 Ω)
周波数特性	30 Hz～15 kHz
S/N比	64 dB (MONO)
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)
AMチューナー部	
受信周波数範囲	522 kHz～1629 kHz
周波数ステップ	9 kHz
感度	29 dBμ(28.2 μV)
CDプレーヤー部	
レーザーダイオード	GaAlAs
デジタルフィルター (D/A)	8倍オーバーサンプリング
回転数	500～200 rpm (線速度一定)
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	20 Hz～20 kHz (±1 dB)
高調波歪み率	0.01 % (1 kHz)
S/N比	80 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	90 dB
MP3デコード	MPEG-1/2 Audio Layer-3 準拠
WMAデコード	Windows Media™ Audio 準拠
AACデコード	AAC-LC形式".m4a"ファイル
オーディオ部	
最大出力	50 W × 4
定格出力	30 W × 4 (4Ω,1kHz, 10%THD以下)
スピーカーインピーダンス	4～8 Ω
オーディオコントロール	
バス	100 Hz ± 8 dB
ミドル	1kHz ± 8 dB
トレブル	12.5 kHz ± 8 dB
AUX入力	
周波数特性	20 Hz～20 kHz (±3 dB)
入力最大電圧	750 mV
入力インピーダンス	20 kΩ

電源部 その他	
電源電圧	13.2 V (10.0～16.0 V)
最大消費電流	10 A
寸法・質量	
埋込寸法 (W × H × D)	180 × 50 × 157.6 mm
質量(重さ)	1.2 kg

- これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

■ 商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店または
株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル　0120-663521

（受付時間　9時～ 12時、13時～ 17時／但し、土日・祝祭日・弊社指定休日は除く）

販売元　株式会社ホンダアクセス　〒352-8589 埼玉県新座市野火止8丁目18番地4号

製造元　株式会社 JVCケンウッド　〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

PART NO. 08A02-4T0-1000-80
PART NO. B5A-0063-00